

ポリテクセンター関西 能力開発セミナー 利用者の声

今回は、産業用チェーンや減速機・変速機でおなじみの株式会社椿本チエイン様にポリテクセンターの能力開発セミナー活用についてお話を伺いました。

受講者の声

笠野 北斗 さん
モーションコントロール事業部

○受講コース

- ・旋盤加工技術（外径・ねじ加工編）
- ・旋盤加工応用技術（複合課題編）



現場で磨いた技術、さらに高みへー 私の挑戦

現在、長岡京工場でマシニングオペレーターとして、減速機や変速機のボディ加工を中心に、追加工や複雑形状への対応など幅広い業務を担当しています。現場では段取り改善や品質管理にも関わり、常に高精度が求められる環境でスキルを磨いています。

そんな中、さらなる成長を目指して挑戦したいのが『つばき技能オリンピック』。その準備として、ポリテクセンターの「旋盤加工技術（外径・ねじ加工編）」と「旋盤加工応用技術（複合課題編）」の2コースを受講しました。外部研修は初めてで、汎用旋盤を操作するのは高校以来。入社後は初めての経験でしたが、指導員の専門的な指導により新しい知識を得ることができました。

特に印象的だったのは、これまで同僚に依頼していた治具のピンなどを自作できるようになったこと。外注コストの削減や生産性向上に直結し、現場対応力が大きく向上しました。学びがすぐに実務に活かせることを実感した瞬間です。

今後は、汎用旋盤だけではなく加工全般の知識をさらに広げるため、マシニングセンタのプログラミング技術を学びたいと考えています。

NCと汎用機の両方を扱う実践的な研修や、最新加工技術・自動化に対応する内容を取り入れ、スキルアップを図りたい——その挑戦はまだ続きます。



笠野さんが加工している減速機ボディ

技能向上の挑戦— 現場を超えた学びの場へ

— 事業部間の技能格差を埋め、若手育成を加速させたい—

そんな思いから能力開発セミナーの活用が始まりました。

当社では技能向上を目的に『つばき技能オリンピック』を開催し、当社の各地工場から選抜された社員が技能を競います。しかし、工場ごとに技能レベルの差が顕著で、現場だけでは解決が難しい課題でした。そこで外部研修という選択肢に目を向け、ポリテクセンターのセミナーを導入。現場では学びにくい高度な技術を体系的に学べる場として期待しました。

若手も指導者も成長する、充実した研修環境

最大の魅力は、整備された環境で集中して学べること。ポリテクセンターには汎用旋盤が10台以上並び、設備の違いに悩まされることなく研修が可能でした。

さらに、切削の様子をカメラで確認できる仕組みは、現場では得られない貴重な体験。

指導員の専門的なアドバイスにより、若手だけでなく指導者層にも新たな気づき生まれ、『現場では気づけなかった視点』を共有できたことが大きな成果でした。



受講の様子。本格的な機械で実習が受けられます。

次なる挑戦— 一人ひとりの成長を支援

今後は技能グランプリを視野に入れた上級レベルの課題設定や、スキルに応じた段階的なカリキュラムを希望しています。現場課題に即した応用的テーマや最新技術を取り入れ、長期的な人材育成に対応する研修を期待しています。

株式会社椿本チエイン 長岡京工場

京都府長岡京市神足暮角1-1

— 「動かす」をコントロールする—

1917年創業。長岡京工場はモーションコントロール事業部の拠点として減速機、直線作動機、カムクラッチなど、お客様のニーズにこたえる多種多様な一般産業用部品を製造している。

ホームページ

<https://www.tsubakimoto.jp/>

